

4-1-1. 基本方針

こども未来館の整備は、小牧駅前再生・活性化のカギを握る、市民待望の施設としての重責を担っています。こども夢・チャレンジ No.1 都市宣言の「こどもを中心に世代を越えて、市民がつながり、支え合う、住みよいまち」をラピオ改修(こども未来館)により具現化し、新たに生まれ変わる施設が『希望と活気に満ちた、人が集まる街づくり』の一翼を担うことを目指します。



■周辺施設との連携を見据えた改修

今後改修が予定される小牧駅の駅前広場や、建設予定である新小牧市立図書館との連携を検討し、どこからでも入りやすい施設となるよう改修を行います。



- ・新小牧市立図書館とペDESTリアンデッキでの接続の可能性など、周辺事業との一体性を考慮した施設計画を検討します。
- ・駅前から歩行者専用道路まで続く緑の景観が、ラピオ内部まで連続し、施設内においても緑を感じ憩える空間づくりを検討します。
- ・シンボルロードと、歩行者専用道路などによる2本の街の軸線からスムーズなアクセスが可能となる建物改修を検討します。
- ・「街のリビング」「街のダイニング」「街のスタディールーム」をキーワードに市民が家から出て、駅前に集まりたいくなるような魅力ある施設づくりを目指します。

- ・小牧駅から駅前広場、新図書館を経て小牧山へとつながる軸線上に立地
- ・「歩行者専用道路」を介してつながる歩行者動線と、小牧山方面へ貫通する「シンボルロード」の2本のアプローチ軸が存在



周辺航空写真 (Google map を使用)

イメージパース

